



《ご参考資料》

2011年5月31日(火)
株式会社ボーネルンド

東日本大震災の被災地支援活動について

このたびの東日本大震災で被災された皆様には、謹んでお見舞いを申し上げます。子どもの健全な成長に寄与することを目的に教育玩具の輸入・開発・販売を行う株式会社ボーネルンド（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中西弘子）は、東日本大震災の被災地の子どもに向けて「あそび」を保障する取り組みを行うことで被災地域を支援していくことを決定し、3月18日、社内に「被災地域の子どもたちへの支援を行う会」を設置しました。支援のフェーズを緊急・中期・長期の3段階に分けて、継続的な支援活動を実施してまいります。各段階における主な取り組みは下記の通りです。

【第1フェーズ】緊急支援 3月～4月まで

- ・あそび道具の寄贈：1,115,300円分

NPO法人など現地で活動している非営利団体からの要請を受け、被災地の子どもたちに遊具を寄贈しました。

寄贈先：子供地球基金、おもちゃ美術館、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン、河口湖自然楽校

- ・義援金：1,167,153円

日本赤十字社を通じ、社内拠出の100万円と全国のボーネルンドショップ22店舗で実施した募金活動による167,153円を合計した1,167,153円を義援金として寄付しました。

【第2フェーズ】中期支援 4月～7月まで

- ・絵本とあそび道具セットの寄贈：7,000,000円分

株式会社世界文化社との協働によって、被災地の幼稚園・保育園700箇所に対し、絵本とあそび道具のセットを寄贈します。2社トータル14,000,000円分のうち、当社では7,000,000円分を負担。現在、順次被災地の幼稚園・保育園に配布中です。

【第3フェーズ】長期支援

今後も国内の支援組織や、支援の申し出をいただいている世界の玩具メーカー、そして地域住民の方々と連携しながら、現地に拠点を置いた活動を長期的に展開していく予定です。現在、支援活動の内容や仕組みについて検討しております。

【ボーネルンドについて】

ボーネルンドは、“あそびの道具と環境”を提供することを通じて子どもの健全な成長に寄与するため、1981年に設立。一般家庭向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国84ヵ所で直営店舗を運営しています。また、同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約3万ヵ所まで拡大しています。

《報道関係の方のお問い合わせ先》

株式会社ボーネルンド 広報室 担当：村上 TEL：03-5785-0860 / 080-5901-3591 E-mail：y-murakami@bornelund.co.jp	株式会社プラップジャパン 担当：古澤、山口 TEL：03-3486-6868 E-mail：bornelund@ml.prap.co.jp
--	--